

# 成田空港緊急戦略 プロジェクト会議資料

平成21年12月21日



1

## 首都圏空港に関する国の動きと 千葉県の考え方

2

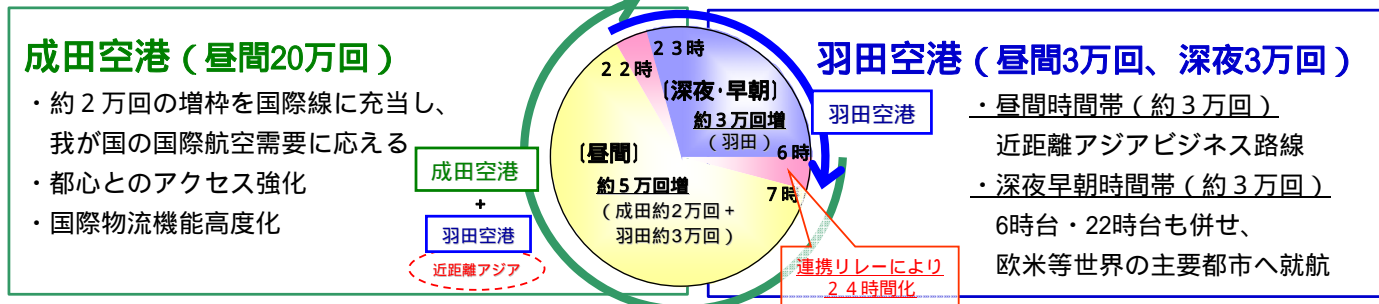
## 国土交通省の方針 冬柴プラン概要

首都圏空港の国際航空機能の拡充について、国は、昨年5月に「首都圏空港における国際航空機能拡充プラン」、いわゆる「冬柴プラン」を発表しました。

(平成20年5月20日経済財政諮問会議資料をもとに作成)

### 【2010年に向けた施策】

2010年の供用開始当初の首都圏空港（成田・羽田）の増枠を最大限活用し、国際航空機能を最大化



### 【2010年以降の将来に向けた施策】

成田・羽田両空港を一体的に活用し、増大する首都圏航空需要に24時間通し質・量ともに最大限対応

- ・首都圏の空港容量は、概ね10年後には首都圏の空港容量が再び満杯になると予想。あらゆる角度から可能な限りの空港容量拡大施策を検討。
- ・成田は、世界各地との豊富なネットワークを有する我が国最大の国際空港としての強みを強化。さらに国内線も充実。
- ・羽田は、国内・国際双方の需要の伸びを勘案。昼間は、羽田のアクセス利便性を活かせる路線中心に、国際線増加を推進。

3

## 前原大臣「羽田24時間国際ハブ空港化」発言に対する対応

平成21年10月12日(祝)に、前原国交大臣から「羽田24時間国際ハブ空港化」を目指す旨の発言がありましたが、10月14日(水)に、千葉県森田知事は国土交通省を訪れ、発言の真意を確認しました。この面談により、国際線は成田・国内線は羽田が原則であることを確認するとともに、「両空港を一体的にとらえ合理的な棲み分けをする、これからは、互いに誤解のないよう意思疎通を図る」ことを、大臣・知事間で合意しました。



前原  
国土交通大臣



平成21年10月14日面談の様様

### 【前原大臣：大阪府知事と会談後の会見時】

(平成21年10月12日)

- ・日本にはハブ空港が無く、インチョンが日本のハブとなっているのが現状である。
- ・そのため、来年の羽田空港における第4滑走路オープン为契机に内際分離を撤廃し、羽田の24時間国際空港化を徐々に進めていきたい。
- ・もちろん成田空港も重要であり、有効に活用していきたいと考えている。関西3空港の問題はこれから考えていきたい。

### 前原大臣面談時に知事が確認した内容

- ・成田が国際線の基幹空港、羽田が国内線の基幹空港であるという原則は維持。
- ・今後の首都圏の国際線の伸びを踏まえ、成田空港をもっと機能拡充する必要があり、役割を強化することを確認。

前原大臣の意図が、冬柴プランを超えないことを再確認。

4

### 首都圏の航空需要へ対応するために成田空港の30万回実現を目指します

- ・ 2010年3月に成田は22万回となりますが、国際拠点空港機能の強化のため、成田30万回の実現に向けて、地元との合意形成に努めます。

### 成田空港のアクセス向上に努めます

- ・ 現在、成田新高速鉄道、北千葉道路、圏央道などのアクセス整備を推進しているところです。特に、成田新高速鉄道については、2010年夏に開通予定であり、成田と日暮里が36分で結ばれることとなります。
- ・ また国では、更なる鉄道アクセス改善のため、成田と東京駅を30分台、羽田を50分台で結ぶ検討が進んでいます。

### 成田は国際線、羽田は国内線の基幹空港という役割分担は合理的です

- ・ 羽田空港は、首都圏の空港であると同時に日本の首都にある空港であり、地方から強い乗り入れ要望を考慮する必要があります。
- ・ 基本的には、都心に近い羽田には国内線を最優先させ、国際線については、4,000m滑走路を有し、国際ネットワークが集積し、空港専用アクセスが整っている成田空港で担うことが合理的であると考えます。

### 羽田空港の議論については千葉県の騒音影響への配慮が不可欠です

- ・ 羽田空港は、狭隘な空域、都心の騒音問題があり、到着機のほとんどが千葉県上空を飛行し、首都圏の騒音影響は千葉県が一手に引き受けている状況です。
- ・ 羽田の更なる機能拡充にあたっては、こうした騒音の実態を考慮し、首都圏における騒音の共有化などの抜本的な解決策を図ることが議論の大前提です。

# 千葉県の成田空港機能拡充への協力

## 成田空港のアクセス改善

千葉県では、成田空港の機能拡充のため、現在鉄道・道路ともにアクセス改善を進めています。また、成田＝都心間アクセスのみではなく、羽田空港との一体活用のため両空港を結ぶ道路網の整備を進め、国でも、両空港間の鉄道アクセス整備の検討が進められています。



### 鉄道アクセス(成田は空港第2ビルまで)

- ・日暮里～成田空港間 51分(京成スカイライナー)
- ・東京～成田空港間 50分(成田エクスプレス)
- ・新宿～成田空港間 約80分(成田エクスプレス)
- ・東京～羽田空港間 24分(JR+モノレール)

### 道路アクセス(成田・羽田間)

- ・首都高速(湾岸線)～東関東自動車道

### 鉄道アクセス ( 短絡線整備により実現を図るべく、現在国において検討中)

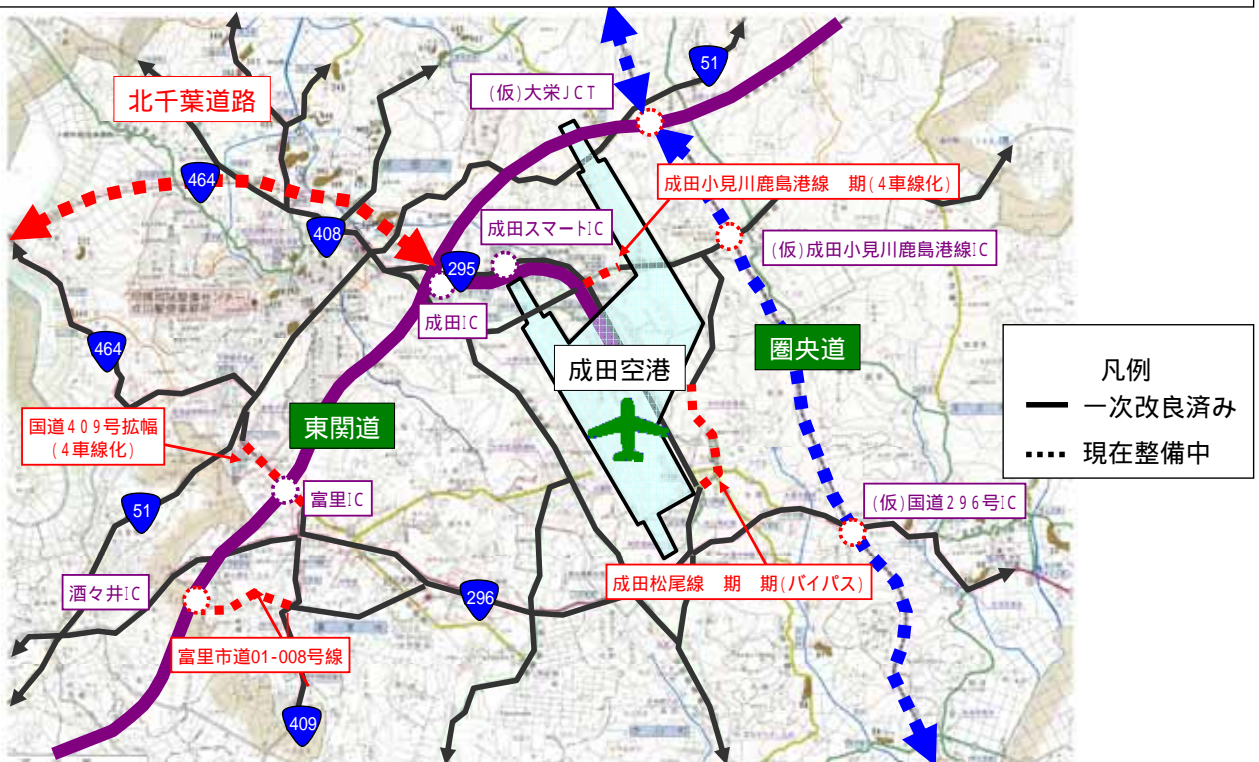
- ・日暮里～成田空港間 **36分(京成スカイライナー)**  
( 成田新高速鉄道の整備による短縮)
- ・東京～成田空港間 30分台を目指す ( )
- ・羽田～成田空港間 50分台を目指す ( )

### 道路アクセス(成田・羽田間)

- ・アクアライン～圏央道も選択肢に！ 北千葉道路も整備中

## 成田空港の機能拡充のための施策(空港周辺道路の整備)

成田空港の機能拡充のため、現在、空港周辺道路に加え、圏央道・北千葉道路などの整備を進めています。



## 成田空港の機能拡充のための施策(工業団地の整備・成田ニュータウンの整備)

成田空港の機能拡充のため、千葉県では空港周辺道路、工業団地、成田ニュータウンなどの整備を進めてきました。また、空港周辺には物流施設の立地が相次ぎました。

